

科目シラバス 2024年度

--

■科目基本情報

科目名	日本語上級 I 会話	科目コード	B020
授業時数/週	2 時間/週	年次・学期	2 年 ・ 後期
必修/選択区分	必修	授業形態	演習
担当教員	阿曾千春, 岸本涼子, 塩山秀洋		
教員の実務経験	無	実務経験職種	
職業実践専門課程		連携企業等	
備考			

■科目詳細情報

授業概要	身近な話題について言いたいことを聞き手を意識し、調整しながら伝える活動を通して、コミュニケーション能力を養成する。											
到達目標	自分の関心や専門分野に関連した、身近な日常のおよび非日常的な問題について、自信を持って話し合いをすることができる。											
授業方法	身近な話題や与えられたテーマについて、ペアやグループで話し合ったり、発表をしたりする。											
実践的教育の内容												
成績評価方法	筆記試験 定期試験	0%	筆記試験 小テスト	0%	実技試験	80%	課題評価	0%	平常評価	20%	合計	100%
	ロールプレイ (JF日本語教育スタンダード準拠ロールプレイテスト使用) 授業内での取り組みを自己、他者評価する。スピーチの発表、ルーブリックを作成し聴衆が評価。授業内での自己、他者評価。											
授業外における学修	特になし											
教科書・教材	「コミュニケーションのためのクラス活動40」スリーエーISBN : 9784883195800											
参考文献・資料	特になし											
履修上の留意点	特になし											
授業計画	第1週	コミュニケーションのためのクラス活動 自分の言いたいことを、自分の言葉で伝える。①										
	第2週	コミュニケーションのためのクラス活動 自分の言いたいことを、自分の言葉で伝える。②										
	第3週	コミュニケーションのためのクラス活動 自分の言いたいことを、自分の言葉で伝える。③										
	第4週	コミュニケーションのためのクラス活動 自分の言いたいことを、自分の言葉で伝える。④										
	第5週	コミュニケーションのためのクラス活動 聞き手を意識して調整して伝える。①										
	第6週	コミュニケーションのためのクラス活動 聞き手を意識して調整して伝える。②										
	第7週	コミュニケーションのためのクラス活動 聞き手を意識して調整して伝える。③										
	第8週	コミュニケーションのためのクラス活動 聞き手を意識して調整して伝える。④										
	第9週	コミュニケーションのためのクラス活動 内容を整理して説得的に伝える。①										
	第10週	コミュニケーションのためのクラス活動 内容を整理して説得的に伝える。②										
	第11週	コミュニケーションのためのクラス活動 内容を整理して説得的に伝える。③										
	第12週	コミュニケーションのためのクラス活動 内容を整理して説得的に伝える。④										
	第13週	コミュニケーションのためのクラス活動 聞き手の感情に配慮して伝える。①										
	第14週	コミュニケーションのためのクラス活動 聞き手の感情に配慮して伝える。②										
	第15週	コミュニケーションのためのクラス活動 聞き手の感情に配慮して伝える。③										
	第16週	コミュニケーションのためのクラス活動 聞き手の感情に配慮して伝える。④										
	第17週	コミュニケーションのためのクラス活動 ロールプレイテスト										